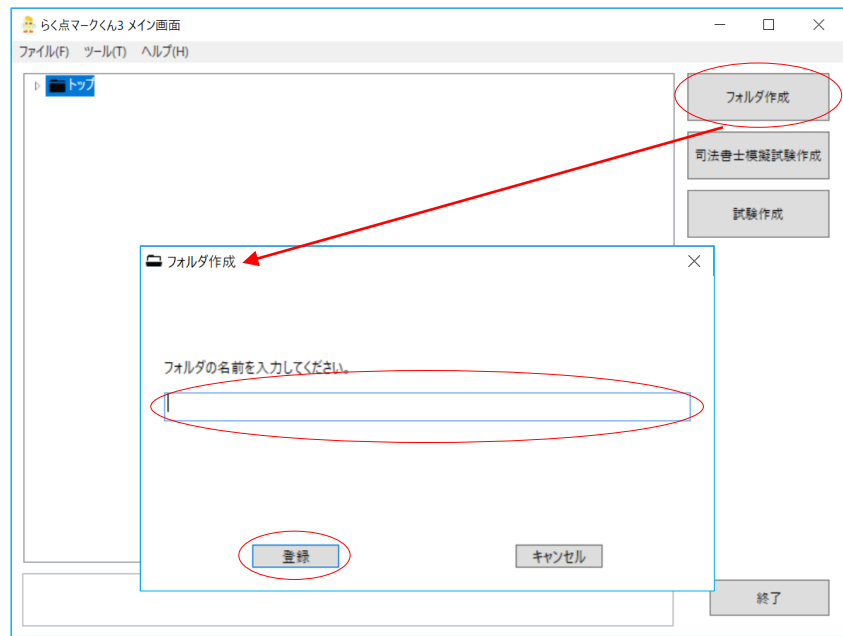


らく点マークくん3 カスタマイズソフトマニュアルv1.0

もくじ

1 フォルダ作成	P2
2 試験作成	P3
3 テスト作成	P3
4 名簿管理.....	P4
5 正解配点登録	P6
6 シート読み取り	P9
7 データ確認・修正	P10
8 採点結果表示	P16
9 特殊採点の設定方法	P17
10 閾値変更	P19

1. フォルダ作成 ※フォルダ作成の必要がなければ次に進んでください。

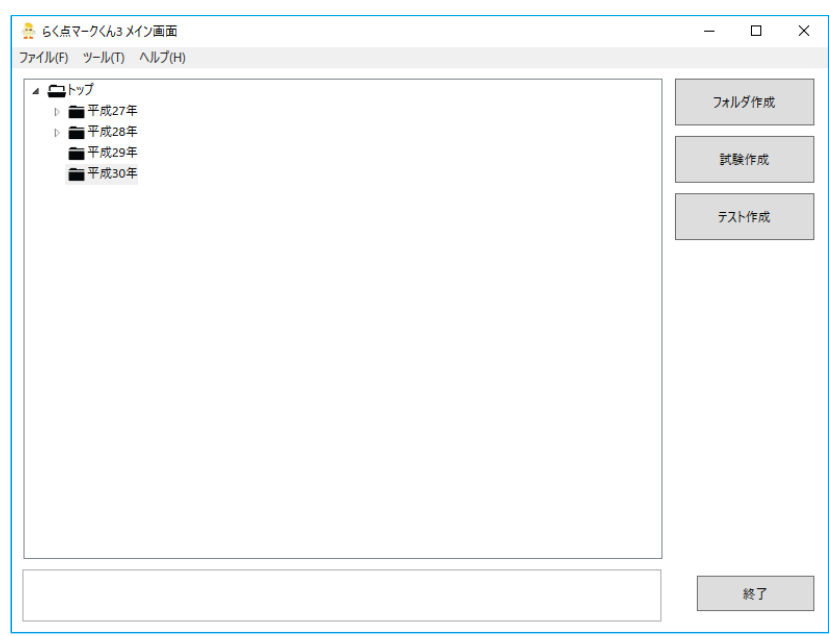


メイン画面の【フォルダ作成】を選択してください。

「フォルダ作成」画面が表示されます。

フォルダの名前を入力し、【登録】を選択してください。

メイン画面に、フォルダが追加されます。



左図のように「実施年」でまとめることや、そのほかまとめた項目ごとにフォルダを作成することができます。

2. 試験作成

メイン画面の【試験作成】を選択してください。

【試験名】任意名
【番号欄設定】桁数：8桁

今回オリジナルで作成をしたカスタマイズシートになります。

SN-C01096

3. テスト作成

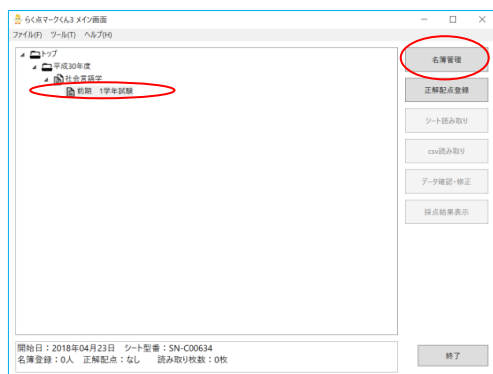
作成したテストごとにマークシートが読み取られデータ出力も作成したテストごとに出力がされます。

【テスト名】任意名
【シート型番選択】SN-C01096
【番号欄設定】桁数：8桁

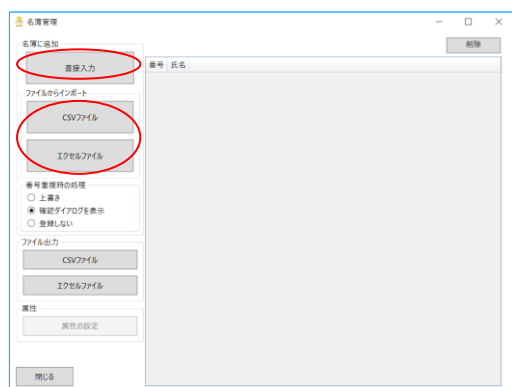
- 型番の頭にCがつくシートはフルカスタマイズで作成をしたシートになります。

【番号欄設定について】
番号欄設定につきましては、「試験作成」で設定した番号欄設定の桁数が「テスト作成」にも引き継がれます。

4. 名簿管理



該当のテストを選択し、【名簿管理】を選択してください。

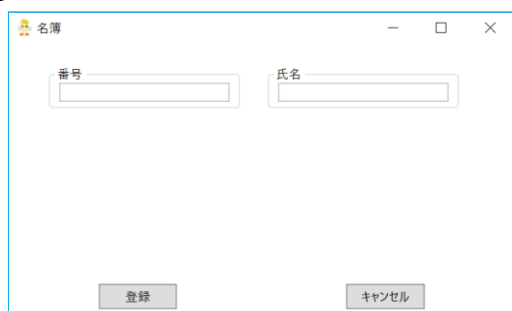


「名簿管理」画面が表示されます。

名簿の登録方法は2種類です。

- ①直接入力
- ②ファイルインポート

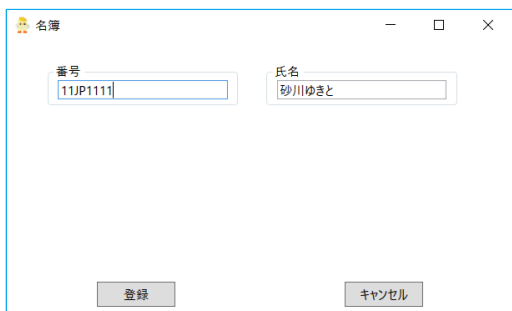
①.直接入力



名簿管理画面で、「直接入力」をクリックしてください。

名簿画面が表示されます。

「番号」と「氏名」が直接入力できます。



4. 名簿管理(つづき)

②.ファイルインポート

名簿管理画面で、「ファイルインポート」のExcelファイルまたはCSVファイルを選択してください。

ファイルインポート

対象ファイル: D:*明治学院大学*明治学院大学_名簿.xlsx 参照

対象シート: Sheet1

番号 A列 氏名 B列

A列	B列
1	番号 名前
2	11JC1111 赤石たくみ
3	11LE1111 石川ゆりか
4	11LF1111 宇山りょうた
5	11LA1111 江口かなこ
6	11EE1111 大山さとし
7	11EB1111 加藤なな
8	11EG1111 菊地けんた
9	11SG1111 児島ひなた
10	11SW1111 佐藤けんた
11	11JU1111 清水あいり
12	11KS1111 山口たいと
13	11TT1111 相川ゆいと
14	11TG1111 山中うみか

1 行目をタイトル行として登録する 2 行目から 15 行目までを登録する
 桁数不足の場合、頭に0を追加する

登録 キャンセル

「ファイルインポート画面」が表示されます。

登録をクリックするとインポートしたファイル内容で名簿情報が登録されます。

【ファイルインポート画面の説明】

(1) 番号・氏名の列の選択

ソフトに取り込む際に列の選択・指定を行います。

(2) 1行目をタイトル行として登録する

キャプチャー画像のように1行目にタイトルが入力されている場合にチェックを入れます。

(3) 2行目から15行目までを登録する

ファイルに登録されている全員分ではなく範囲を決め範囲分を登録することも可能です。

(4) 桁数不足の場合、頭に0を追加する

桁数登録、名簿管理で登録をした桁数よりもマークシートに塗られている桁数が多い場合にソフトで自動的に頭に0を追加し桁数をそろえる機能です。

(5) 対象シート

1つのファイルで複数のシートにわけて名簿を作成している場合、該当試験での名簿のシートを選択することができます。

(例：1シート目に1年生・2シート目に2年生・3シート目に3年生…)

※ファイルインポートは事前にExcelファイルまたはCSVファイルで名簿の作成が必要になります。番号と氏名が入力されているファイルをご用意ください。

5. 正解配点登録

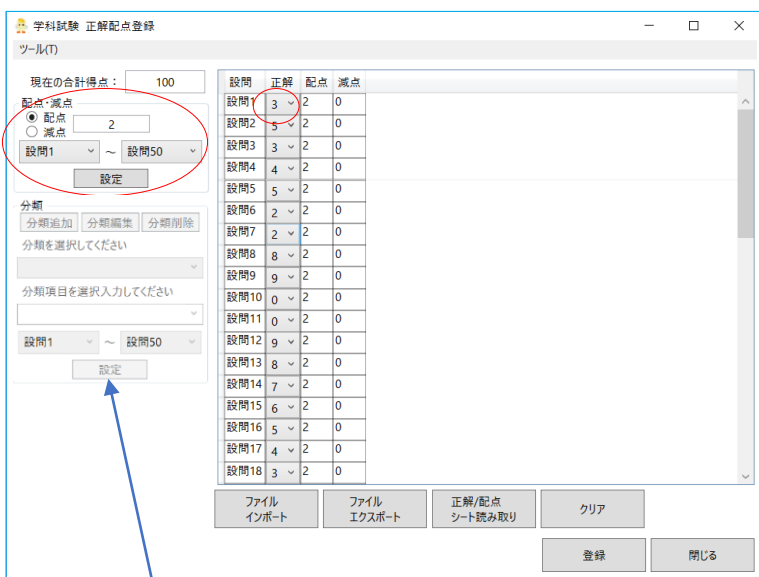


該当のテストを選択し、【正解配点登録】を選択してください。

【正解配点登録】画面が表示されます。正解配点の登録方法は3種類です。

- ①直接入力
- ②ファイルインポート
- ③正解/配点シート読み取り

①直接入力



「分類」設定は有料機能の範囲となります。

(1)配点・減点

左上に正解・配点の枠があります。配点または減点を選択し、点数を入力してください。その後、設問口～設問口とプルダウンで設定範囲を選択してください。(または右側の表に直接ご入力ください)

(2)正解

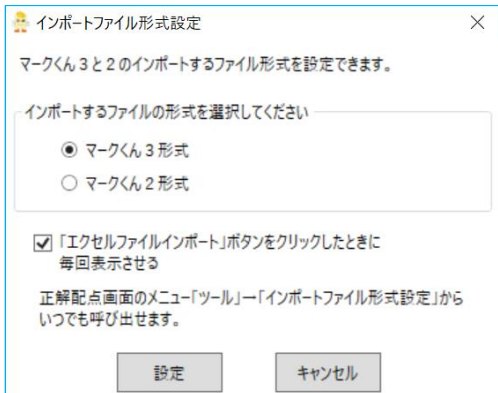
右側の表の正解の列がプルダウンできるようになっております。プルダウンで該当の正解番号を選択してください。

「登録」をクリックし、正解配点の登録が完了します。

5. 正解配点登録（つづき）

②ファイルインポート

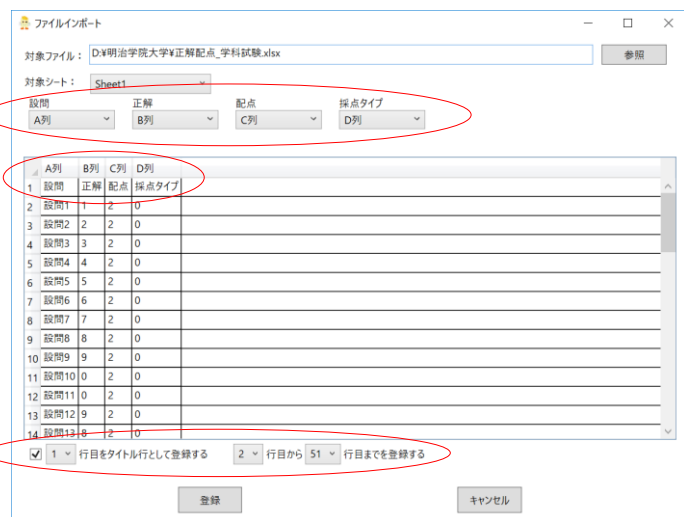
正解配点登録画面の下にある「ファイルインポート」をクリックしてください。



「インポートファイル形式設定」画面が表示されます。

ファイル形式で「**マークくん3形式**」を選択し、【設定】を選択してください。

「毎回表示される」のチェックを外すと初回のみ確認画面になります。



事前にご用意いただいた正解配点登録のファイルを指定してください。

ファイルインポート画面が表示されます。

登録をクリックするとインポートしたファイル内容で名簿情報が登録されます。

【ファイルインポート画面の説明】

- (1) 設問・正解・配点・採点タイプの列の選択
取り込んだファイルの該当の列の選択をすることができます。
- (2) 1行目をタイトル行として登録する
画像のように1行目にタイトルが入力されている場合にチェックを入れます。
- (3) 1行目から151行目までを登録する
ファイルに登録されている全データ分ではなく範囲を決め範囲分を登録することも可能です。
- (4) 対象シート
1つのファイルで複数のシートにわけてデータを作成している場合、該当試験のデータを選択することができます。
(例：1シート目に1年生試験・2シート目に2年生試験・3シート目に3年生試験…)

※事前準備

【インポートファイル形式】

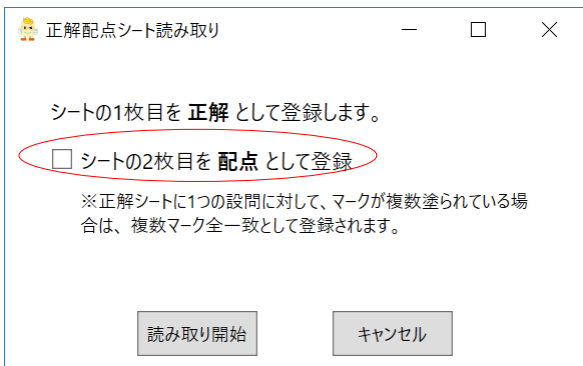
①設問番号 ②正解 ③配点 ④採点タイプ
上記の4つの情報が必要になります。

4つの情報が入力されたファイルをご準備ください。

5. 正解配点登録(つづき)

③正解/配点シート読み取り

正解配点登録画面の下にある「正解配点シート読み取り」をクリックしてください。



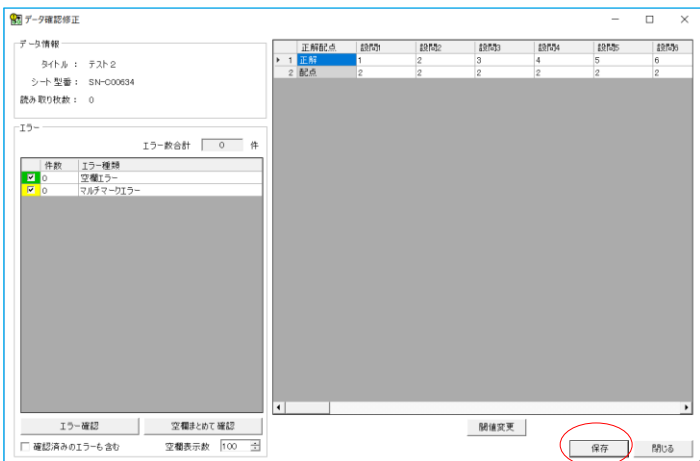
マークシートで正解・配点を登録することができます。

また、「シートの2枚目を配点として登録」のチェックを入れることで「1枚目を正解シート」・「2枚目を配点シート」として登録が可能です。



マークシート読み取り

読み取り開始後につきましてはP9に記載しております。
(フォルダ読み取り中)

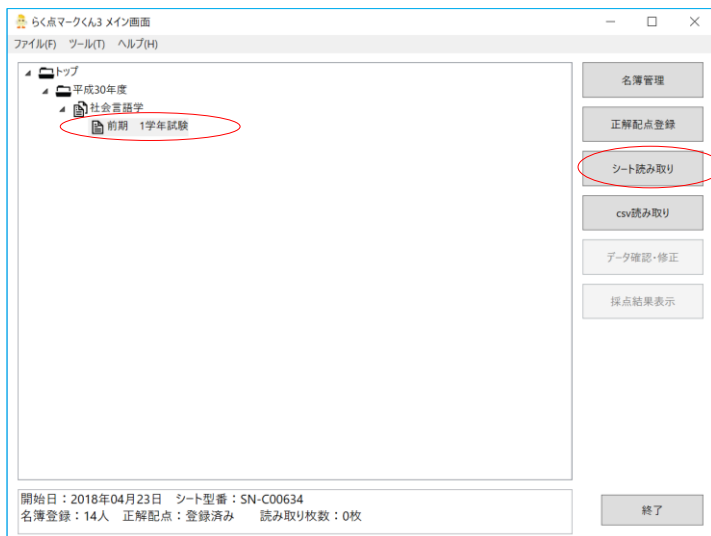


【データ確認修正画面】が表示されます。マーク欄のエラー確認・修正を行います。

エラー・確認修正作業につきましてはP10に記載しております。

「保存」をクリックするとマークシートのマーク欄のマーク値で正解・配点の登録が完了します。

6. シート読み取り



該当のテストを選択し、【シート読み取り】を選択してください。

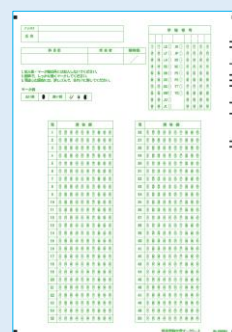
「シート読み取り」画面が表示されます。マークシートのスキャンを行ってください。

※【ScanSnap ix500】
ix500のスキャナを利用する際の、マークシートをセットする正しい向きはコーナーカットの向きが左上となります。画像のようにセットしてください。



読み取りが完了したら、【読み取り停止】を選択してください。

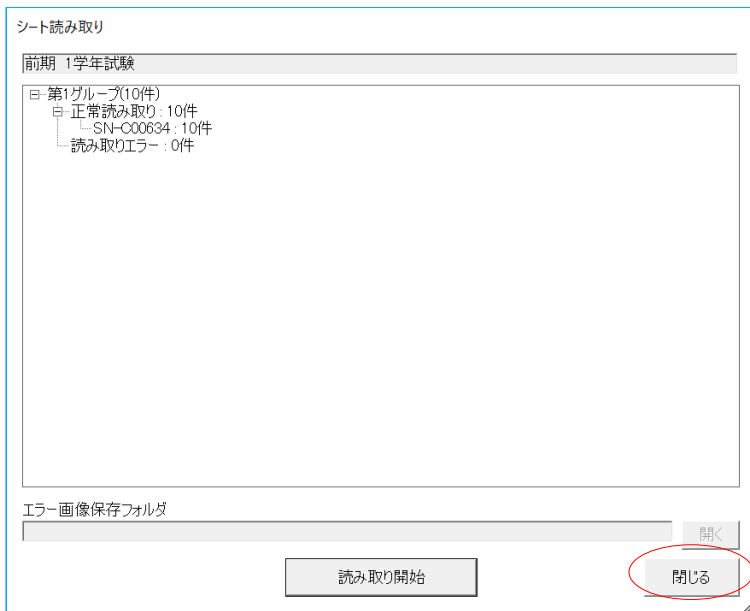
【読み取った画像の向き】



※一部コーナーカットがあります。こちらのコーナーカットがJPEG画像で保存した際に左下にくるようにお願いします。

上記の画像のマークシート通りに保存されていれば問題ありません。

6. シート読み取り (つづき)

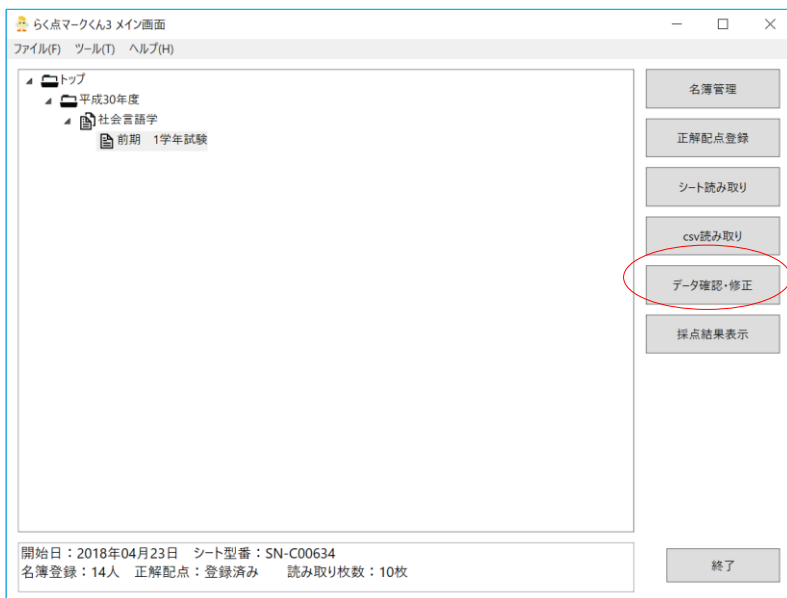


「シート読み取り (結果)」画面が表示されます。

【閉じる】を選択してください。

※「読み取りエラー」があった際には、再度読み取りを行う必要があります。
エラー画像保存フォルダが作成されるので、【開く】を選択し、エラーとなった画像 (マークシート) を確認してください。

7. データ確認・修正



該当のテストを選択し

【データ確認・修正】を選択してください。

マーク欄のエラー確認・修正を行います。

7. データ確認・修正(つづき)

「データ確認修正」画面が表示されます。

データ確認修正

データ情報

タイトル : 前期 1学年試験
シート型番 : SN-C00634
読み取り枚数 : 10

エラー

エラー数合計 27 件

件数	エラー種類
<input checked="" type="checkbox"/>	桁数エラー
<input checked="" type="checkbox"/>	フォーマットエラー
<input checked="" type="checkbox"/>	名簿不一致エラー
<input checked="" type="checkbox"/>	重複エラー
<input checked="" type="checkbox"/>	空欄エラー
<input checked="" type="checkbox"/>	マルチマークエラー

正解 記点	番号	氏名	得点	設問25	設問26	設問27	設問28	設問29	設問30	設問31
-	-	-	100	6	0	9	8	7	6	5
1	11JC1111	赤石たくみ	26	2	2	2	2	2	2	2
2	11LE1111	石川ゆりか	32	6	0	118	6	6	6	5
3	11LE1111	石川ゆりか	44	5	0	9	7	7	6	5
4	11LA1111	江口かほ	58	7	0	9	8	7	6	5
5	11EE1111	大山さとし	54	6	0	9	8	7	2	5
6	11EB1111	加藤なな	62	6	0	1	8	2	7	3
7	EG????	?	50	0	1	2	8	7	9	5
8	11SG1111	児島ひなた	32	7	1	9	8	7	5	0
9	11SW1111	佐藤けんた	56	7	0	9	1	2	6	8
9	11JU1111	清水あいら	24	6	0	9	8	7	4	5
10	11JU1111	清水あいら	24	8	0	119	8	2	6	5

エラー確認 空欄まとめて確認

データ削除 読み取り順にソート 閾値変更

確認済みのエラーも含む 空欄表示数 100

保存 閉じる

エラーがあった際には、各エラーに応じた色がセルに付きます。
また、各エラー件数が表示されます。

確認修正を行うエラーにチェックを入れ、【エラー確認】を選択してください。
エラーとなったマーク欄が次々と表示されます。

※空欄エラーを行う際は、【空欄まとめて確認】でまとめて行うのがオススメです。

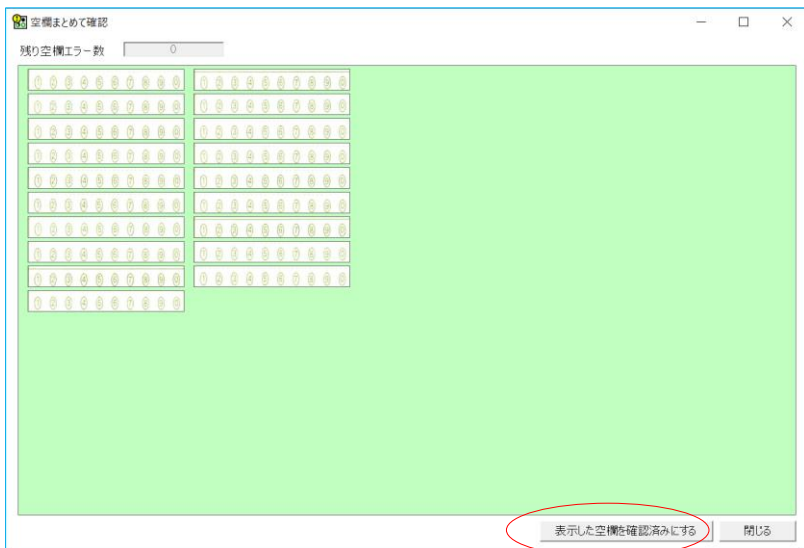
修正を行ったセルは、色が変わります。

	設問27	設問28	設問29	設問30
9	8	7	6	6
2	2	2	2	2
9	8	7	6	6
9	7	7	6	6
9	8	7	6	6
9	8	7	2	2
1	8	2	7	7
2	8	7	9	9
9	8	7	5	5
9	1	2	6	6
9	8	7	4	4
119	8	2	6	6

修正が完了したら、【保存】を選択してください。
修正した内容で、上書きされます。

7. データ確認・修正(つづき)

(1) 空欄エラーの場合

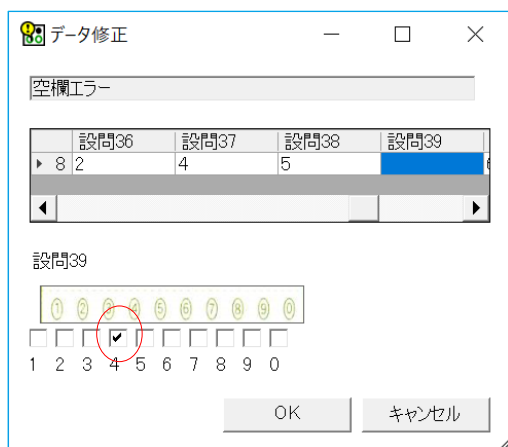


データ確認修正画面で

「空欄まとめて確認」をクリックしてください。

ソフトが空欄と認識したマーク欄を一覧で表示させます。
切り出し画像を確認いただき、
空欄の場合は「表示した空欄を確認済みにする」にチェックを入れてください。

マーク欄の修正を行う場合、
該当のマーク欄の切り出し画像をダブルクリックしてください。



【データ修正】画面が表示されます。
マーク欄の切り出し画像の下に、チェックボックスが表示されますので、
修正を行いたいマーク欄の数字に
チェックを入れてください。

「OK」をクリックすると修正が完了します。

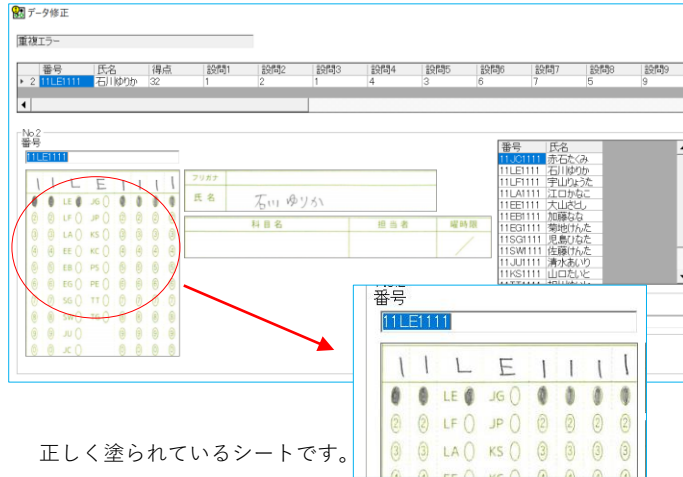
空欄と認識したマーク欄をマークされていると処理をする場合に必要になります。

7. データ確認・修正(つづき)

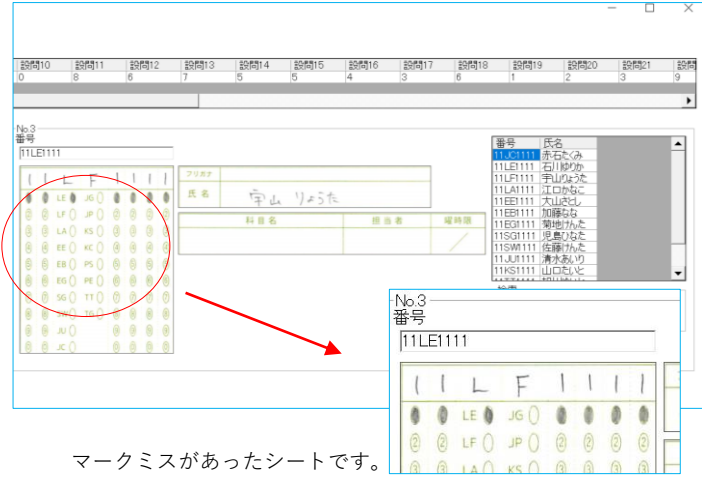
(2) 番号欄エラーの場合 (名簿)

番号欄重複エラー

学籍番号が重複してしまった場合のエラーのなります。



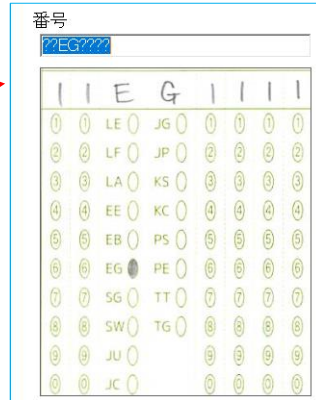
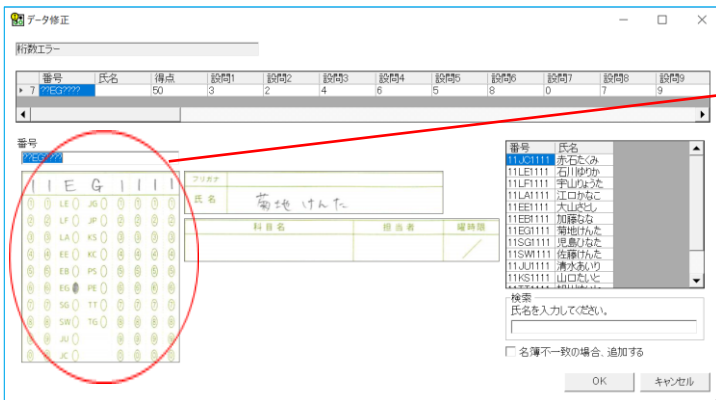
正しく塗られているシートです。



マークミスがあったシートです。

桁数エラー

設定をした桁数と異なる場合のエラーになります。



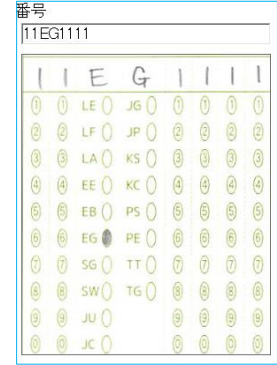
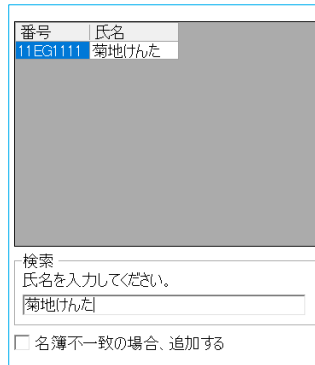
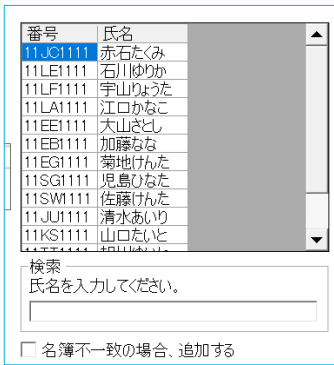
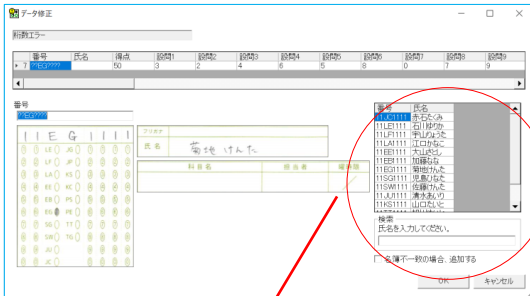
数字のマーク欄を塗っていないシートです。

7. データ確認・修正(つづき)

(2) 番号欄エラーの場合 (名簿)

修正方法

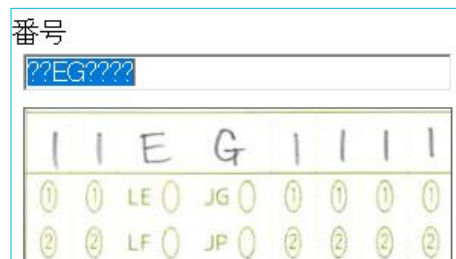
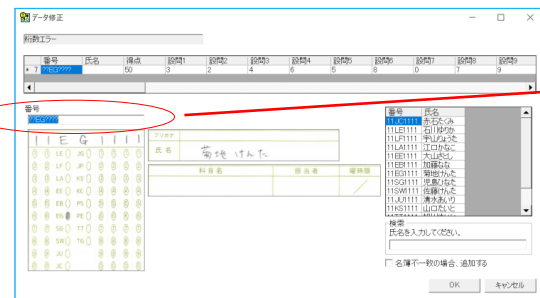
① 氏名検索



登録された名簿情報の一覧表になります。

検索の枠内に該当者の氏名を入力し、番号をクリックすると自動的に番号欄が修正されます。

② 直接入力



マーク欄の上部にある枠内に直接入力をして修正することもできます。
?がエラーとなった桁です。

7. データ確認・修正(つづき)

(3) 各設問のエラーの場合

データ修正

マルチマークエラー

	設問25	設問26	設問27	設問28
▶ 1	6	0		1 8

設問28

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

OK キャンセル

実際の画像と見比べることができます。
 チェックの付け外しで修正作業ができます。
 2のチェックを外しOKをクリックします。

データ修正

マルチマークエラー

	設問25	設問26	設問27	設問28
▶ 1	6	0		1 8

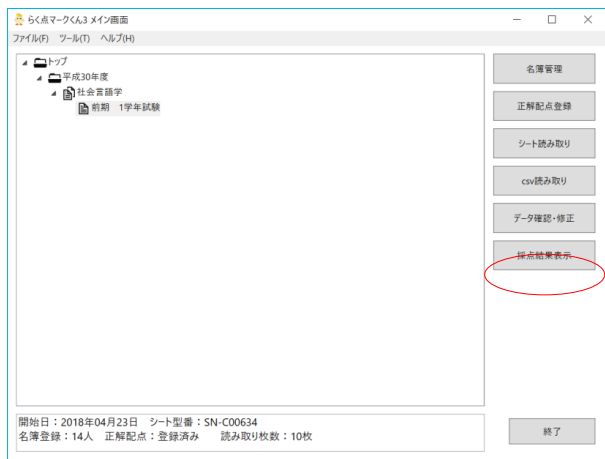
設問28

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

OK キャンセル

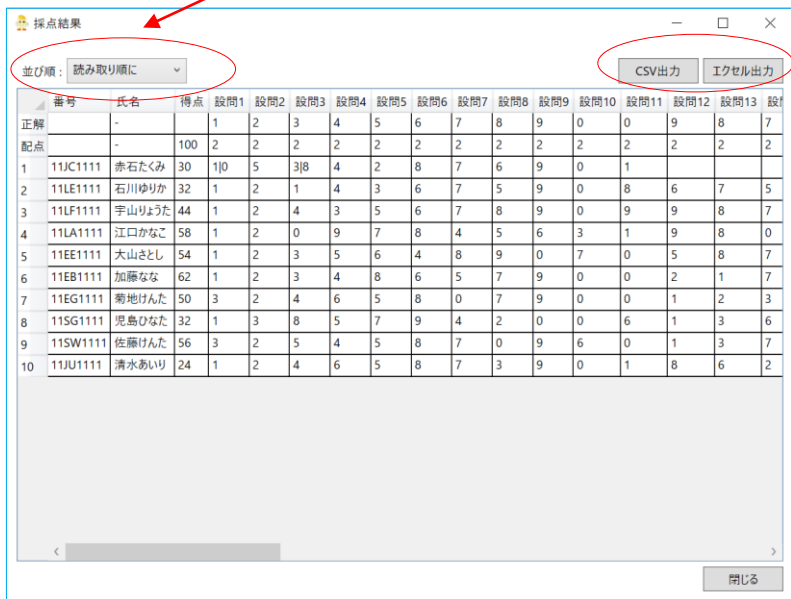
正しい番号、正しいマーク欄への修正が完了したら、【OK】を選択してください。
 次のエラーが表示されます。

8. 採点結果表示



該当のテストを選択し【採点結果表示】を選択してください。

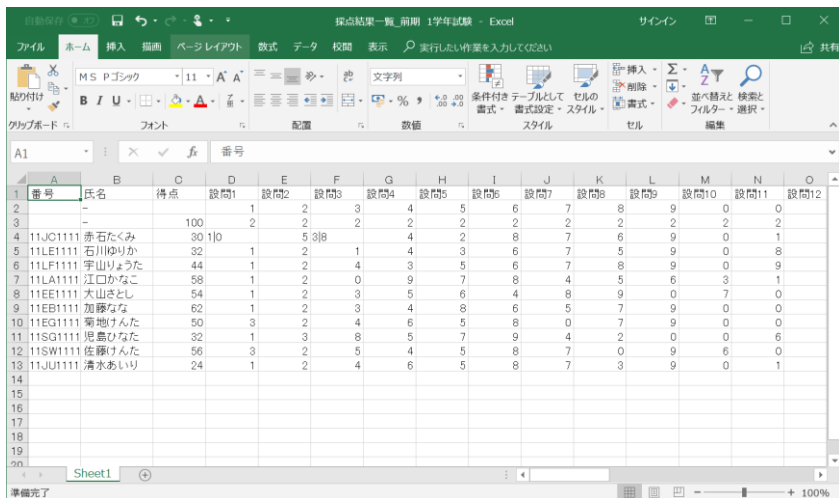
読み取り順・番号順・名簿順に変更可能です。



【採点結果】が表示されます。

【CSV出力】または【エクセル出力】を選択してください。

Excelファイル出力例



9. 特殊採点の設定方法

採点方法は、択一解答以外の特殊な採点方法にも対応しております。

特殊タイプ一覧表

0	通常採点	8	複数マーク部分一致
1	順不同全一致	9	全員正解
2	順不同部分一致	10	解答者全員正解
3	連続一致	11	スキップ
4	順不同部分一致 正解数に応じて	12	マーク一致OR
5	連続一致OR	13	空欄正解
6	複数マーク択一		
7	複数マーク全一致		

各特殊採点の説明

1つの設問に設定できる採点タイプ

択一 (通常採点) 採点タイプ : 0
1問ずつ点数を設定する場合。

複数マーク全一致 採点タイプ : 7
「1～5の中から正しいものを二つ選びなさい」というような問題において、一つのマーク欄を用いて解答させる場合。正解と解答が過不足なく全て一致した場合のみ正解とする。

複数マーク部分一致 採点タイプ : 8
「1～5の中から正しいものを二つ選びなさい」というような問題において、一つのマーク欄を用いて解答させる場合。解答マークのうち正解マークと一致した数に応じて得点を与える。

複数マーク択一 採点タイプ : 6
「1～5の中から正しいものを一つ選びなさい」というような問題において、正解が複数ある場合。解答マークは一つのみ。解答マークがマークの正解マークのどれかと一つと一致すれば正答とする。
(複数回答は不正解)

マーク一致OR 採点タイプ : 12
得点を与える解答マークが複数ある場合。
(例 : 正解マーク1が5点、3が3点の場合など。)
複数の正解のうちいずれかと一致する場合のみ正答とする。

複数の設問に設定できる採点タイプ

順不同全一致 採点タイプ : 1
「1～5の中から正しいものを二つ選びなさい」というような問題において、連続する複数のマーク欄を用いて解答させる場合。正解と解答が過不足なく全て一致した場合にのみ正解とする。

連続一致 採点タイプ : 3
「1～5の中から正しいものを二つ選びなさい」というような問題において、連続する複数のマーク欄を用いて解答順序も指定させる場合。正解と解答が過不足なく順序含め全て一致した場合にのみ正解とする。

順不同部分一致正解数に応じて 採点タイプ : 4
「1～5の中から正しいものを二つ選びなさい」というような問題において、連続する複数のマーク欄を用いて解答させる場合。正解と一致した個数に応じて得点を与える。正解の並び順は異なってもよい。

順不同部分一致 採点タイプ : 2
「1～5の中から正しいものを二つ選びなさい」というような問題において、連続する複数のマーク欄を用いて解答させる場合。解答マークのうち正解マークと一致した数に応じて得点を与える。

連続一致OR 採点タイプ : 5
連続一致での採点において、正解が複数ある場合。
(例 : 角ABC角EFGのどちらでも正解の場合など、連続一致と同じ方式で、複数の正解のうちいずれかと一致する場合のみ正答とする。)

9. 特殊採点の設定方法(つづき)

共通の採点タイプ

全員正解 採点タイプ：9
解答内容問わず(空欄でも)正解にする。

空欄正解 採点タイプ：13
解答欄が空欄の場合のみ、正解にする。

解答者全員正解 採点タイプ：10
解答している場合は、正解にする。(空欄は不正解)

スキップ 採点タイプ：11
解答内容を問わず(空欄でも)配点・減点をしない。

採点タイプの設定方法

(1) 直接入力の場合

設問	正解	配点	減点
設問1	0	0	0
設問2	0	0	0
設問3	0	0	0
設問4	0	0	0
設問5	0	0	0
設問6	0	0	0
設問7	0	0	0
設問8	0	0	0
設問9	0	0	0
設問10	0	0	0
設問11	0	0	0
設問12	0	0	0
設問13	0	0	0
設問14	0	0	0
設問15	0	0	0
設問16	0	0	0
設問17	0	0	0
設問18	0	0	0

- 複数マーク択一
- 複数マーク全一致
- 複数マーク部分一致
- マーカー一致OR
- 全員正解
- 解答者全員正解
- 空欄正解
- スキップ

- 順不同全一致
- 順不同部分一致
- 連続一致
- 連続一致OR
- 順不同部分一致正解数に応じて
- 全員正解
- 解答者全員正解
- 空欄正解
- スキップ

正解配点登録画面を開いてください。
特殊採点を設定したい「設問」の上で右クリックをしてください。
各種特殊採点一覧が表示されますので該当の採点方法を選択してください。

(2) ファイルインポートの場合

設問	正解	配点	採点タイプ
設問1	1	4	1
設問2	2		
設問3	3	2	0
設問4	4	2	0
設問5	5	2	0
設問6	6	4	3
設問7	7		
設問8	8	2	0
設問9	9	2	0
設問10	0	2	0
設問11	0	2	0
設問12	9	2	0
設問13	8	2	0

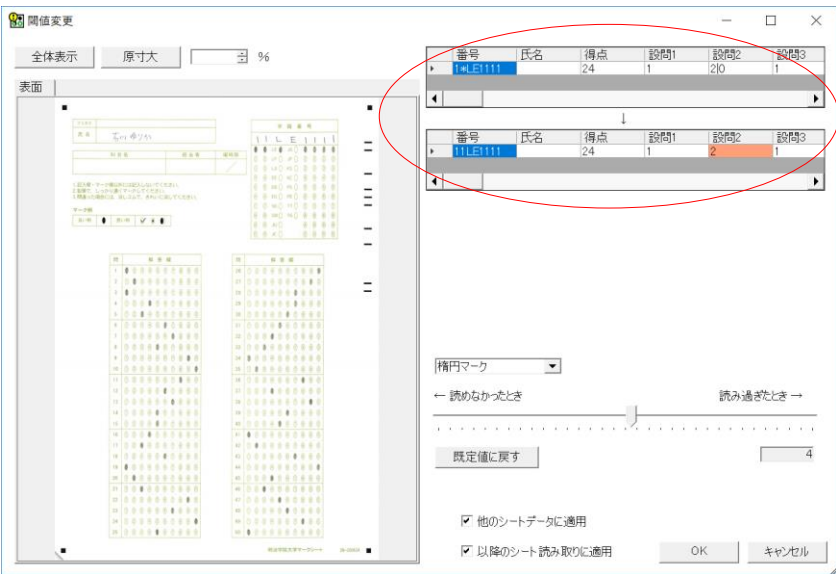
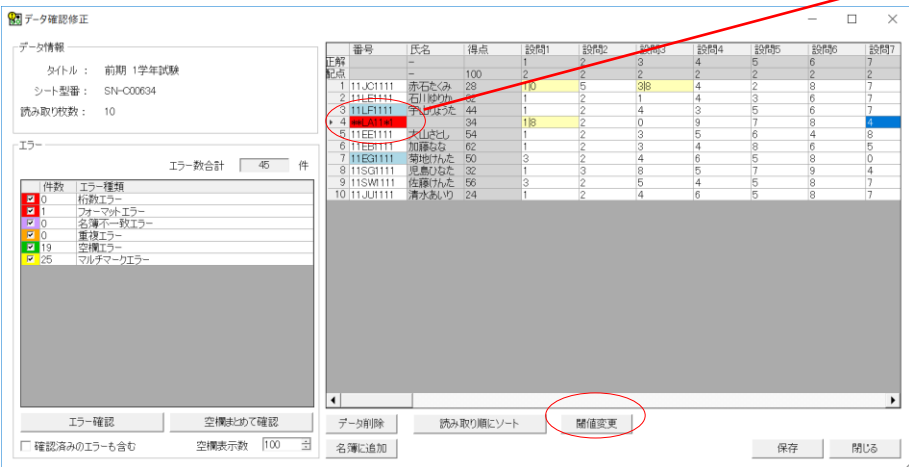
P7の正解配点登録用ファイルでの入力になります。
事前にご準備いただく正解配点登録ファイルの採点タイプの列に、該当する採点タイプの数字を入力してください。
※択一回答の場合は、「0」になります。
P7の通り、インポートをしてください。

10. 閾値変更

マーク欄の閾値を変更することができます。

****LA11*1**

上記の「*」はマーク値を読みすぎてしまった場合の表記になります。

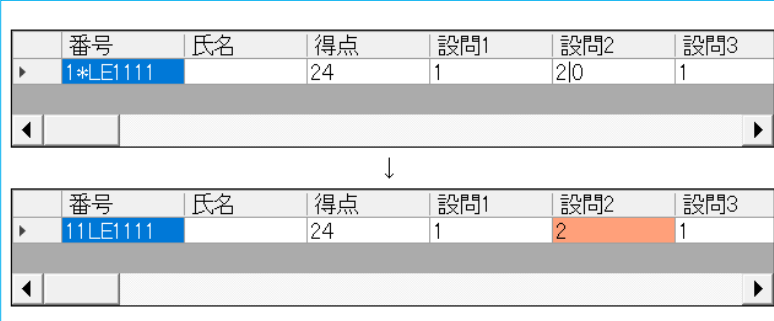


データ確認修正画面で「閾値変更」をクリックしてください。

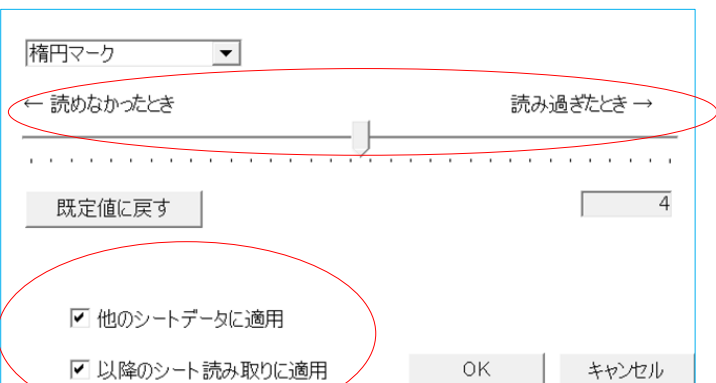
【閾値変更】画面が表示されます。

データ確認修正画面で「閾値変更」をクリックしてください。

【閾値変更】画面が表示されます。



上部：変更前のマーク値
下部：変更後のマーク値



「読めなかったとき」と「読み過ぎたとき」の該当する方向にバーを変更してください。(上記の画像に反映されます)

【他のシートデータに適用】
設定した閾値を他のシートデータにも適用する場合にチェックを入れてください。

【以降のシート読み取りに適用】
設定した閾値を以降のマークシート読み取りデータにも適用する場合にチェックを入れてください。

• ソフトウェアバージョン

MarkKun3_v1.4.50.0
(2024年4月15日現在)

• カスタム設定ファイルバージョン

CustomSetting_v.1.0.2
(2024年4月15日現在)

• 動作環境

【OS(オペレーティングシステム)】
Microsoft Windows11/Windows10
【.NETのバージョン】
.NET4.0以降が必要
【メモリ】
2GB以上推奨
【その他】
Microsoft Excel 2016 以降
日本マイクロソフト株式会社のサポートが終了したOSやアプリは弊社ソフトウェアの動作要件外とする
【ディスプレイ】
1024×768以上推奨
【ストレージ】
必須空き容量 400MB以上
※データ領域は別途必要です。

(2024年4月15日現在)